

# 職場体験の機会が就労支援に 企業の協力を引き出す労働組合の役割とは



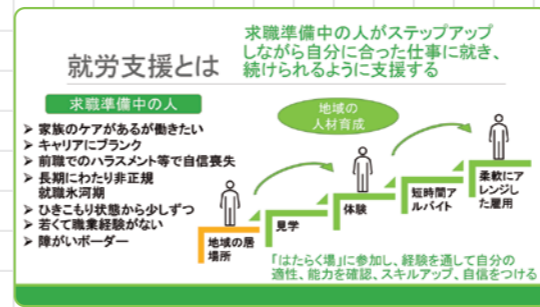
小田川華子  
事務局長

誰ひとりとして孤立しない、孤立させない市民社会をめざして、「子ども・若者の自立支援」「ユニバーサルなはたらく場づくり支援」などに取り組む、公益社団法人ユニバーサル志縁センター。この間、ゆにふあんで、児童養護施設や里親などのもとで育った若者を支援する「若者おうえん基金」でクラウドファンディングを実施するなど協力関係を築いてきた。そして今、同センターが注力するのが、地域の就労支援事業だ。同センターの小田川華子事務局長に、就労支援事業者と企業が協力する新しい就労支援のあり方や労働組合への期待についてたずねた。

各自の状況や特性に合わせて就労に向けたステップアップをはかる

団体の概要と活動について教えてください。

誰もがぐらしやすく、参加できる市民社会を築くため、労働組合やNPO、市民団体など、業種を超えてゆるやかにつなげるネットワークのハブ組織として活動しています。1990年代に立



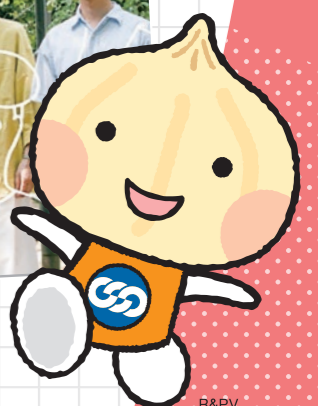
就労支援の考え方について、改めて教えてください。

就労支援は、求職の準備をしている段階の方がステップアップしながら自分に合った仕事に就き、続けられるように支援する取り組みです。

本人の特性や関心、希望を踏まえた職場見学や就労体験から始まり、短時間勤務や仕事内容のアレンジなど柔軟な働き方や雇用を取り入れることで、ステップを踏みながらの就労支援ができるように



ゆにふあんでクラウドファンディング「若者おうえん基金」を実施



自治体と企業の協力体制により就労から定着の流れが円滑に

近年の傾向で特筆すべきことはあります。これまでは障がい者雇用の分野での就労支援に主眼が置かれてきましたが、2015年4月の生活

困窮者自立支援法の施行とそれにもとづく自立支援制度の開始により、生活困窮者支援にも力が入られるようになりました。

生活困窮者自立支援事業は障がいや年齢にかかわらず、全世代型の就労支援であり、コロナ禍で失業や減収となった方も含め、対象者が拡大しています。

各地の就労準備支援は、どのような状況にあるのでしょうか。

企業との協力体制がとれるかどうかかがカギになっているようです。職業訓練やハローワークで求人を探し、就労しても、すぐに離職してしまう、定着しないといった問題がよくあります。求人票の情報だけでは適性を判断できず、うまくマッチングできないことが多いからです。

そのため私たちは、職場見学や就労体験といったステップを用意したり、採用担当者と相談者のカジュアルな座談会の間などを用意したり、企業と協力した就労支援の取り組みを呼びかけています。職場体験は互いにお試し期間となり、面接や履歴書を介さないマッ

労働組合に期待が高まる支援機関と企業の橋渡し

労働組合は、どのように就労準備支援に関わることができるのか、状況把握することから始めるとよいと思います。

また、就労体験参加者への声掛けや励ましなどもよいでしょう。ただ、コミュニケーションが苦手

チング、採用活動にもなるのです。

最初からフルタイムでの就労はハードルが高くても、短時間でできる簡単な仕事から始め、徐々に働く時間や業務の幅を広げていくと定着につながります。

ある旅館のケースでは、外周りの掃除の仕事を取り出すことから始め、従業員と関係を築くうちに、1カ月ではほぼフルタイムで働けるようになったそうです。支援したスタッフは、元気に働く姿を目にしてとても驚いたそうです。

しょうか。

何より、企業と支援機関の橋渡しし役としての労働組合への期待は大きいですね。支援機関は企業側の事業や事情を十分把握しきれない場合も多く、連携をはかりたくてもどのように話せば伝わるのか、頭を悩ませているところも少なくありません。労働組合の関わりとしては、市役所の労働部局や生活困窮者自立支援事業担当

部局、地元の就労支援機関などと連携し、どのような協力ができるか、状況を把握することから始めるとよいと思います。

また、就労体験参加者への声掛けや励ましなどもよいでしょう。ただ、コミュニケーションが苦手

でもできる仕事を選んで体験している場合もあるので、受け入れ担当者や支援機関のスタッフとの情報共有も大切です。

就労体験参加者への報酬面の支援も考えられます。長野県の社会福祉法人経営者協議会では、会員からの協賛金を財源に就労体験参加者への報酬を応援金の形で支給しています。参加者も報酬があることで、「もう少し頑張ってみよう」と励みになるそうです。今後の労働組合とのさらなる連携に期待しています。

ありがとうございました。

## くらしをまもり未来をつくる

### 連合緊急アクション

#### パレード参加者による

#### 「くらし支援」を実施しました!

2月25日に開催された「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える連合緊急アクション」パレードにおいて、参加の皆さんから食料品と文房具の寄付を受け付けました。

連合本部として初めての取り組みにもかかわらず、段ボール約40箱の寄付をいただきました!

いただいた食料品はゆにふあんに掲載いただいている「フードバンクかながわ」と「セカンドハーベスト・ジャパン」に、文房具は「キッズドア」にそれぞれ寄付いたします。



寄贈の様子などはゆにふあん Pick Upにて掲載していきますのでチェックしてください!



連合緊急アクション特設サイトはこちら



※経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれがある方へ包括的な支援を行う制度。各自治体が実施主体となり、包括的な相談支援を行う自立相談支援事業(必須事業)と、本人の状況に応じた支援を行う各支援事業(任意事業)がある。